

【アメリカ】民主党大統領候補、オバマ上院議員の対アジア政策

海外立法情報課・高木 綾

* 民主党の大統領候補、バラク・オバマ米上院議員の対外政策構想において、アジアや日米関係はどのように位置づけられているのかを以下で概観する。

アメリカのリーダーシップを新たにするために: アジアにおける新たな枠組みを構築

イラク戦争後の米国が内向きになることは誤りであり、数多くの脅威に対処するためには、米国が信頼を回復し、模範的行動を示すことによって世界を導かなければならない。そのための課題の1つである「パートナーシップの再構築」を行うにあたり、アジア地域においても、アジア諸国を包括するような制度的枠組みの構築が必要である。そのより効果的な枠組みによって安定と繁栄を促進し、国境を超えた脅威に対処することが可能になると目論む。米国はアジアの安全と安定を支持し、享受する。

中国との競争及び協力

中国の台頭は近い将来、米国の対外政策上、最も重要な課題の1つとなることが必至で、これに最も上手く対処する方法は中国を更に国際システムに統合し、様々な目標を共有することである。そして米国の軍事力を最強のまま維持し、アジア太平洋地域の同盟を強化して、その台頭が平和的なものになるよう保障しなければならない。また経済関係を再び均衡させ、エネルギー及び環境問題でも協力し、中国が抑圧国家への支援を終了するよう圧力をかけ、中国自身の人権状況の改善にも尽力する。

日米協力による新たなリーダーシップ

日米関係は、米国のアジア太平洋政策の礎石である。共に協力することで、新たなリーダーシップを提供することができる。北朝鮮問題やテロとの戦いといった従来の課題だけでなく、環境やエネルギー問題、鳥インフルエンザやアフリカ支援などグローバルな問題においても協力を行うところは、ブッシュ政権と異なる点である。なお日本の国連安保理常任理事国入りについては、態度を保留している。

参考文献(インターネット情報はすべて2008年9月19日現在である。)

- ・Barack Obama, "Renewing American Leadership," *Foreign Affairs*, July/August 2007.
- ・Platform standing committee, *Renewing America's Promise*, Presented to the Democratic National Convention 2008. <<http://www.politifact.com/media/files/demplatform2008.pdf>>
- ・Barack Obama, "U.S.-China Policy Under an Obama Administration," *CHINA BRIEF*. October 2008. <<http://www.amcham-china.org.cn/amcham/show/news.php?Id=693&menuid=04&submid=01>>より
- ・Richard J. Danzig and Joseph S. Nye, "Japan dialogue key to U.S. interests in Asia," *The Asahi Shimbun*, Jun 28, 2008. <<http://www.asahi.com/english/Herald-asahi/TKY200806280083.html>>
- ・YOICHI KATO, "Presidential aspirant wants to strengthen alliance," *The Asahi Shimbun*, Aug 22, 2008. <<http://www.asahi.com/english/Herald-asahi/TKY200808220048.html>>